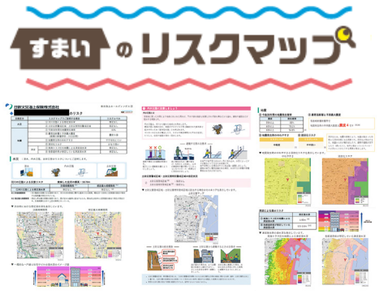
SDGs新聞	日新火災海上保険株式会社
安心を届けるおしごとのヒミツ	

SDGsラジオを読んでみよう！

みなさんは、うっかりモノをこわしてしまって、「どうしよう」と思ったことはありますか？
実は、社会にはそんな困った人を支え、安心を届ける仕事があります。保険会社の「日新火災海上保険」も、そのひとつです。
日新火災海上保険は、災害でものがこわれたり、
事故で相手の人にけがをさせてしまったりしたときに備える「損害保険」の会社です。
たとえば、事故にあったという連絡があると、困っている人にお話を聞きながら、解決に向けたお手伝いをしています。
台風や地震などの大きな災害が起きたときには、会社全体で力を合わせ、困っている人が少しでも早く安心できるように
力を合わせているんですよ。
また、事故を防ぐための注意点を伝えたり、防災に役立つ情報を発信したりして、事故や災害を防ぐ仕事もしています。
困っている人を支え、毎日の生活に安心を届けてくれる損害保険会社。
その仕事について、もっと調べてみませんか？

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！

画像参照：保険会社の仕事のイメージ
（日新火災ディスクロージャー誌より）



画像参照：日新火災
「すまいのリスクマップ」のイメージ
（日新火災海上保険HPより）

交通事故で車がこわれたり、地震や台風で家がきずついたりすると、直すのにたくさんのお金が必要になることがあります。こうした事故や災害で困ったときに備える「損害保険」を通して、人々に安心を届けているのが保険会社の「日新火災海上保険」です。日新火災は、事故の連絡を24時間受け付けています。連絡を受けるとまず、いつ、どこで、何が起きたかを聞き、被害の状況をたしかめます。これからどのように進めていくのかを説明し、必要なときには、事故の相手や修理する工場、病院などと連絡を取ります。そのあと、事故にあった人に対し適切な「保険金」を支はらいます。ていねいに、そしてできるだけ早く対応することで、安心を届けています。

また、日新火災では、事故を防ぎ、災害の被害を小さくするための取り組みにも力を入れています。たとえば、安全運転の講習会を開いたり、スマートフォンなどでかんたんに調べられる「すまいのリスクマップ」を通して、住んでいる場所の水害や地震のキケンを紹介したりしています。事故や災害のキケンを前もって知ることは、事故や災害への備えにつながります。さらに、大きな災害が起きたときには、困っている人々がいち早く安心できるように、会社全体で力を合わせます。このように日新火災は、事故や災害のあとを支えるだけではなく、「もしも」の被害を少なくする取り組みも進め、人々のくらしに安心を届けています。

キーワード

損害保険

事故や災害でモノがこわれたときや、人のモノをこわしてしまったり、けがをさせてしまったりしたときに備える保険のことです。

保険金

事故や災害のときに、入っている保険の内容に合わせて、保険会社から支はらわれるお金です。

水害

大雨や台風などで川の水があふれたり、家や道路に水が入ったりして起こる被害のことです。

対象ゴール

みなさんにできること！	
保険会社の仕事について、もっとくわしく調べてみましょう。	
おさらい	●損害保険会社は、事故や災害で困った人に保険金を支はらい、安心を届ける仕事。 ●日新火災海上保険は、ていねいに、早く対応することで困った人に安心を届けている。 ●日新火災では、事故を防ぎ、災害の被害を小さくするための取り組みにも力を入れている。

メモ

SDGsラジオ